

健康経営 推進メッセージ



心身の健康は経営基盤

健康は私たちが幸せに生きるための土台であり、会社の成長を支える源泉です。

変化が激しく複雑な事業環境においてこそ、適度な緊張感を持ちながらも、仕事の楽しさや自身の成長を実感できる心身の健やかさが求められます。健康は、当社グループが「柔軟で強固な組織」、「変化を好機ととらえ果敢に挑戦するチーム」であるための出発点であり、2029V達成に向けた経営基盤です。

健康経営の推進で社会から選ばれる会社へ

“住友理工グループのすべての従業員とご家族が心身ともに健康であることは、会社の健全で持続的な成長を支える経営基盤である”。この方針に基づき2017年4月に「住友理工グループ健康経営宣言」を定めました。

従業員の健康を大切に考え、経営視点から健康投資、健康増進を積極的に実践する「健康経営」は、当社グループが今後も持続的に成長するために不可欠です。この推進にあたっては、経営トップが深く関与し、明確な方針と目標を掲げ、グループ一丸となって活動していくことが何より重要です。

私はいつも「社会や人から選ばれる、いい会社にしていこう」と話しています。健康を大切にする人は人を大切にする人です。健康経営の取り組みは、働き方や企業風土をより良い方向に改善していくのみならず、社会から信頼され、選ばれ続ける会社の持続的な成長を力強く後押しすると考えています。

国や地域によって文化や法制度、実情も異なるため、一律に同じことはできないかもしれませんが、「人を大切にし、健やかに成長していく会社でありたい」という想いは、国や地域を超えても同じではないでしょうか。

目指す未来

健康経営が目指すのは「社員の幸せ = Well-Being」と「会社の持続的な成長」の両立です。心身の健康は一人ひとりの活力や誇りを生み出し、高いエンゲージメントへとつながります。

管理者、リーダーの皆さんは、健康経営の重要性を深く理解し、誰もがいきいきと、安心して働ける職場環境づくりを進めていってください。

同時に、当社グループで働く皆さんに、ご自身の健康を自ら守り育てていくようお願いいたします。会社は、安全と健康を支える制度や職場環境づくりを着実に推進します。しかし、最終的に心と身体を守れるのは「自分自身」です。

誰もが安心して、持っている力を最大限に発揮でき、更なる成長にチャレンジできる職場をともにつくっていきましょう。私も毎朝ウォーキングし、十分な睡眠をとっています。

皆で健康経営を力強く推進することにより、住友理工グループで働く一人ひとりがご自身やご家族、そして仲間の健康を大切にする風土を育てていきたいと思っております。

ご健康に！

従業員とその家族の心身の健康は
「会社の健全で持続的な成長を支える経営基盤」です

代表取締役
執行役員社長
清水 和志



『住友理工グループ健康経営宣言』

住友理工グループは社員の健康管理を重視し、「健康経営」の実現に向けた取り組みを推進します。本健康経営宣言に基づく、健康増進活動に取り組む社員への積極的な支援と、組織的な健康増進施策の推進により、社員の健康意識を高め、「社会から高く評価され、信頼されるとともに、社員が健康でいきいきと活躍できる」企業グループを目指します。

2017年4月

▼

**従業員とその家族の心身の健康は
「会社の健全で持続的な成長を支える経営基盤」**

▼

**グローバルで健康経営を推進し、
いきいきと健やかに働ける職場をつくっていきましょう**